

# SMART Board MX | MX Pro

シリーズ インタラクティブディスプレイ

## インストールおよびメンテナンスガイド

IDX65-1 | IDX75-1 | IDX86-1



この文書は参考になりましたか？

[smarttech.com/docfeedback/171257](https://smarttech.com/docfeedback/171257)

**SMART**<sup>®</sup>

## 注意事項

SMART Board® MXまたはMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイを設置・使用する前に、ディスプレイに付属する重要な情報を確認してください。この情報が見つからない場合は、オンラインで入手できます。

参照 > [docs.smarttech.com/kb/171931](https://docs.smarttech.com/kb/171931)

## 詳細

SMART Board MX または MX Pro シリーズのインタラクティブディスプレイに関するこのガイドやその他のリソースは、SMARTウェブサイト ([smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)) のサポートセクションからご利用いただけます。お使いのモバイルデバイスでこのQRコードを読み取ると、リソースにアクセスできます。



ENERGY STARは政府が支援するエネルギー効率のシンボルであり、消費者や企業が十分な情報に基づいた意思決定を行うために頼りにできるシンプルで信頼性の高い公平な情報を提供します。ENERGY STAR認定製品はエネルギー効率のためのシンプルな選択肢であり、消費者と企業はコストを削減し、環境を保護しながら簡単に購入を行う事ができます。米国環境保護庁 (EPA) は、そのラベルを取得した各製品が、ユーザーが期待する品質や、性能、そしてコスト削減を提供する事を個別に認定されている事を保証します。

ディスプレイは出荷された状態でENERGY STAR のパフォーマンスとコスト削減を実現します。ですが、一部の設定を変更するとENERGY STAR認証に求められる制限を超えてエネルギー消費量が増加する可能性があります。例えば、明るさとコントラストを上げると消費電力が増加します。

ENERGY STAR以外の設定を選択する際は環境を考慮してください。



### 使用許諾契約

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI trade dress、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



### 商標表示

SMART Board、SMART Notebook、SMART TeamWorks、SMART Meeting Pro、Lumio、Object Awareness、smarttech、SMARTロゴ、およびすべてのSMARTタグラインは、米国および/またはその他の国におけるSMART Technologies ULCの商標または登録商標です。Google、Android、Chrome、Google DriveはGoogle Inc.の商標です。Microsoft、Windows、OneDriveは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。Mac、macOS、iOS、およびAirPlayは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。Intel、Pentium、およびCoreは、Intel Corporationの米国やその他の国における商標です。その他すべてのサードパーティ製製品および会社名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

### 著作権表示

© 2019–2024 SMART Technologies ULC. 無断複写・転載を禁じます。SMART Technologies ULC の事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本マニュアルの情報は予告なく変更される場合があります、SMARTのコメントを示すものではありません。

ここに記載された本製品やその使用方法は、以下の米国の特許によって保護されています。

[www.smarttech.com/patents](https://www.smarttech.com/patents)

2024年5月22日

# 目次

<b>第 1 章 ようこそ</b> .....	<b>5</b>
本ガイドについて .....	5
ディスプレイについて .....	6
詳細情報 .....	8
<b>第 2 章 ディスプレイの取り付けとメンテナンス</b> .....	<b>9</b>
SMART Boardインタラクティブディスプレイの設置またはメンテナンスは初めてですか? .....	9
ディスプレイをインストール .....	10
SMART OPSアプライアンスのインストール .....	11
ディスプレイのファームウェアアップデートのためのネットワークの設定 .....	12
ネットワークに接続 .....	13
電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際 .....	14
<b>第 3 章 コンピュータおよび他のデバイスの接続</b> .....	<b>17</b>
SMARTソフトウェアのインストール .....	17
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続 .....	18
その他のデバイスの接続 .....	20
コネクタ図 .....	24
<b>第 4 章 ディスプレイを更新する</b> .....	<b>26</b>
iQシステムソフトウェアの更新 .....	26
ディスプレイのファームウェアを更新する .....	27
<b>第 5 章 トラブルシューティング</b> .....	<b>28</b>
ディスプレイおよび関連するSMART製品のトラブルシューティング .....	28
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ .....	28
<b>付録 A iQ設定の調整</b> .....	<b>29</b>
ネットワークの設定 .....	29
カスタマイズ .....	30
アプリケーションの設定 .....	31
システム設定 .....	33
<b>付録 B ディスプレイ設定の調整</b> .....	<b>37</b>
ネットワーク .....	37
画面ロック .....	38
詳細 .....	38
更新 .....	40
リカバリ .....	40
バージョン情報 .....	40
ディスプレイ設定の終了 .....	41

付録 C RS-232を使用したディスプレイの管理 .....	42
シリアルインターフェース設定を構成します。 .....	42
通信体制 .....	43
コマンド .....	46
付録 D SMART Remote Managementにディスプレイを登録する .....	48
証明書およびコンプライアンス .....	49

# 第1章 ようこそ

本ガイドについて .....	5
ディスプレイについて .....	6
詳細情報 .....	8

---

SMART Board®MXまたはMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイは、教室や会議室のハブです。

## 本ガイドについて

このガイドでは、SMART Board MX または MX Pro シリーズのインタラクティブディスプレイの設置とメンテナンスの方法を説明します。次の情報が含まれています。

- ディスプレイの設置方法と長年使用するためのメンテナンス方法
- デバイスを接続する方法
- ディスプレイを更新する方法
- トラブルシューティング情報の入手先

さらに、このガイドには、ディスプレイのRS-232管理、SMART Remote Managementの設定とサポートに関する情報が含まれています。

このガイドは、本ディスプレイの設置およびメンテナンス担当者向けに作成されています。ディスプレイを使用するユーザー向けには、他のドキュメントやリソースが用意されています。

参照 > 8 ページ 詳細情報

# ディスプレイについて

ディスプレイの設置やメンテナンスが必要な場合は、このツアーに参加してコンポーネントについての理解を深めてください。



\* 表示なし

コンポーネント	説明	このガイドの内容
iQ	<p>iQは、SMART Board MXまたはMX Proシリーズインタラクティブディスプレイに組み込まれたAndroidオペレーティングシステムです。</p> <p>ディスプレイを初めてオンにすると、iQの構成を求めるメッセージが表示されます。</p> <p>デフォルトでは、ディスプレイはiQの更新を自動的にダウンロードしてインストールします。更新を手動でダウンロードしてインストールすることもできます。</p>	<p>参照 &gt; 14 ページ</p> <p>参照 &gt; 26 ページ</p>
画面 / タッチ表面	<p>ディスプレイには、次の画面サイズがあります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 65"</li> <li>• 75"</li> <li>• 86"</li> </ul> <p>ディスプレイのHyPr Touch®with Advanced IRテクノロジーは、最大20のタッチポイントをサポートします（接続デバイスのオペレーティングシステムによって異なります）。</p>	
ペン	<p>このディスプレイには2つのペンが付属しており、画面に書き込む際に使用することができます。</p> <p>ペン先が磨耗したらペンを交換し、スクリーンの損傷や、ペン / 指の検出障害を防いでください。</p>	

コンポーネント	説明	このガイドの内容
電源ステータスライト / センサー	<p>電源ステータスライトはディスプレイのステータスを示しています:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源ステータスライトが赤色の場合、ディスプレイはスタンバイモードです。</li> <li>電源ステータスライトが緑色の場合、ディスプレイは通常の動作モードです。</li> </ul> <p>ディスプレイには、赤外線リモコンと連動する赤外線センサーと、部屋の明るさを検出して画面の明るさを調整できる環境光センサーが搭載されています。環境光センサー機能は有効または無効にできません。</p>	参照 > 33 ページ
赤外線リモコン	<p>初めてディスプレイを設置して設定するときは、赤外線リモコンを使ってディスプレイのオン/オフ、入力の切り替え、ビューの変更ができます。</p> <p>インストールと設定が終わったら、リモコンをユーザーに渡し、ディスプレイで使用してもらうことができます。</p>	
ホームボタン	ユーザーはいつでもホームボタンを押してiQホーム画面に戻ることができます。	
フロントコントロールパネル	前面コントロールパネルには、入力の切り替え、音量の制御、画面のフリーズとフリーズ解除、およびディスプレイのオンとオフを切り替えるためのボタンがあります。	
前面コネクタパネル	前面コネクタパネルには、最大2台のコンピュータまたはその他のデバイスとUSB周辺機器用のコネクタが含まれています。通常、ユーザーのラップトップや周辺機器、およびユーザーが持参するその他のデバイスを接続するために使用されます。	参照 > 25 ページ
側面と底面のコネクタパネル	側面と底面のコネクタパネルには、複数のコンピューター、周辺機器、その他のデバイス用のコネクタが含まれています。これらは通常、室内のコンピューター、周辺機器、およびディスプレイに常に接続されるその他のデバイスに使用されます。	参照 > 24 ページ
OPSアクセサリスロット	SMART OPS PCモジュールなどのSMART OPSアプライアンスを、OPSアクセサリスロットに取り付けることができます。	参照 > 11 ページ
Wi-Fiアンテナ	ディスプレイにはWi-Fiアンテナが付属しています。Wi-Fiまたはイーサネットを使用して、ディスプレイを組織のネットワークに接続できます。iQ や Google サービス、一部のアプリのアップデートをダウンロードするには、ディスプレイにインターネット アクセスが必要です。	参照 > 13 ページ

コンポーネント	説明	このガイドの内容
スピーカー	このディスプレイには二つのスピーカーが内蔵されており、部屋の前面で音声を提供するように設計されています。 これらの統合型スピーカーを使用する代わりに、外部オーディオシステムを接続できます。	参照 > 22 ページ

## 詳細情報

本ガイドの他に、SMARTIはSMARTのウェブサイト ([smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)) のサポートセクションで、このディスプレイのための文書を提供しています。

2 ページのQRコードをスキャンすると、SMART BoardMXおよびMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイに関するドキュメント、およびその他のサポートリソースへのリンクが表示されます。



## 第2章 ディスプレイの取り付けとメンテナンス

SMART Boardインタラクティブディスプレイの設置またはメンテナンスは初めてですか? .....	9
ディスプレイをインストール .....	10
SMART OPSアプライアンスのインストール .....	11
ディスプレイのファームウェアアップデートのためのネットワークの設定 .....	12
ネットワークに接続 .....	13
AM50 iQ機器 .....	14
電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際 .....	14

### SMART Boardインタラクティブディスプレイの設置またはメンテナンスは初めてですか?

これまでSMART Boardインタラクティブディスプレイの設置またはメンテナンスをしたことがない場合は、SMART Boardインタラクティブディスプレイの設置およびメンテナンスハブを参照して、ディスプレイの設置とメンテナンスの一般的な手順とベストプラクティスを確認してください。これには以下が含まれます。

- ディスプレイの設置場所への移動
- ディスプレイを壁、フロアスタンド、またはモバイルスタンドに取り付ける
- 設置後のディスプレイの構成
- ディスプレイを可能な限り最高の状態に保つために、ディスプレイを定期的に清掃およびメンテナンス

#### ❗ 重要事項

ディスプレイ画面をクリーニングする前にコンピューターをシャットダウンするか切断します。こうすることで、スクリーンを拭いたときにデスクトップアイコンがばらばらになったり、アプリケーションの誤起動を防ぐことができます。



関連項目 > [SMART Boardインタラクティブディスプレイの設置およびメンテナンスのベストプラクティス \(docs.smarttech.com/ja/kb/171035\)](https://docs.smarttech.com/ja/kb/171035)

## ディスプレイをインストール

SMARTは、訓練を受けた設置担当者のみがSMART Boardインタラクティブディスプレイを設置することを推奨しています。

### ⚠ 警告

ディスプレイの不適切な設置は、怪我や製品の損傷の原因になります。

### ⚠ 注意事項

- 過度に埃や湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイを使用しないでください。
- ディスプレイの近くに電源用のコンセントがあり、使用中に手が簡単に届くことを確認してください。
- ディスプレイは、ヨーロッパのTNおよびTT出力分配システムのみでの使用にする必要があります。

ヨーロッパの一部の国で使用されている旧式のITタイプの出力分配システムには適合していません。このシステム(ITタイプ)は地面から離れた状態で広く使用されていますが、一部フランスでは230/400Vでインピーダンスを通して接地され、ノルウェイでは電圧制限器により中性非分配型で230Vのライン間電圧で使用されています。

ディスプレイを設置する際に使用可能な電源システムのタイプに関して不明な点がある場合は、担当者までお問い合わせください。

### ⓘ 重要事項

- ディスプレイの機能がすべて使用できる最良の状態を維持するためにインストールが必要な、重要なソフトウェアアップデートがあります。インターネットにアクセスできるネットワークにディスプレイを接続すると、これらのアップデートと将来のアップデートが自動的にダウンロードおよび適用されます。
- 通常の動作電力要件、追加要件、およびその他の情報については、ディスプレイの仕様を参照してください。

### 注記

オーストラリアおよびニュージーランドのユーザーの場合: SMARTはオーストラリアおよびニュージーランドで使用できるスタンドを提供しておらず、他のベンダーのスタンドも推奨できません。

ディスプレイの設置に関する具体的な情報については、ディスプレイに同梱されている図解付き取り付け説明書を参照してください。この説明書を紛失してしまった場合は、オンラインで入手することもできます。

参照 > *SMART Board MX series illustrated installation instructions*  
([docs.smarttech.com/ja/kb/171274](https://docs.smarttech.com/ja/kb/171274))

## SMART OPSアプライアンスのインストール

ディスプレイには、組織がSMART OPSモジュールを取り付けることができる OPS アクセサリ スロット が含まれています。

- SMART OPS PC
- SMART AM30、AM40、またはAM50

AM50 iQ機器のスロットにIntel Compute Cardを挿入し、ディスプレイからカードのWindows 10オペレーティングシステムにアクセスすることが可能です。

### ❗ 重要事項

- AM50 iQアプライアンスをインストールする場合は、ディスプレイのファームウェアバージョンが1.8.7以降であることを確認してください。ディスプレイのファームウェアバージョンが古い場合、ディスプレイが正しく機能しない可能性があります。

参照 > 27 ページ [ディスプレイのファームウェアを更新する](#)


- ディスプレイの電源を入れる前に、Intel Compute Cardが挿入されていることを確認してください。

### ヒント

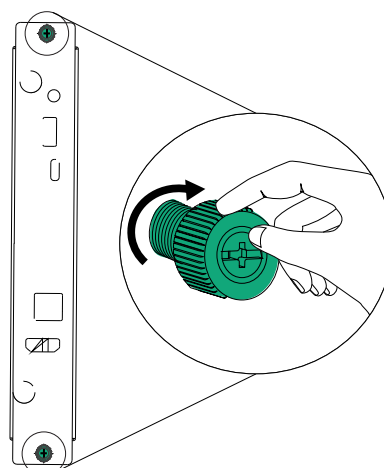
キーボードやマウスなどの周辺機器は、AM50モジュールのUSBレセプタクルを使用してIntel Compute Cardに接続することができます。

参照 > [support.smarttech.com/accessories/computing-modules-and-appliances](https://support.smarttech.com/accessories/computing-modules-and-appliances)

### ⚠ 注意事項

- SMART Boardインタラクティブディスプレイでは、SMARTが提供するOPSアプライアンスのみがサポートされています。サードパーティの OPS アプライアンスはサポートされておらず、使用するとパフォーマンスが低下したり、ディスプレイが損傷したりする可能性があります。
- ディスプレイの電源が入っている間は、OPSアプライアンスを取り付けたり、取り外したりしないでください。初めにAC電源入力横のディスプレイの背面の電源スイッチがOFF(O)になっていることを確認してください。電源スイッチに手が届かない場合は、前面のコントロールパネルの電源ボタンを使用してディスプレイをスタンバイモードにし、ディスプレイの電源ケーブルを電源コンセントから抜きます。
- ディスプレイの電源スイッチをオフにするかプラグを抜いた後は、内部電源が完全に放電されるまで少なくとも30秒待ってからアプライアンスを取り外してください。必要に応じて、5分間待ってアプライアンスを冷却することもできます。

- OPS装置が2つのアンカーポイントを通してネジでディスプレイに固定されていることを確認してください。固定が不十分な電化製品は、ディスプレイを損傷する恐れがあります。(OPS機器の固定ネジは通常キャプティブ式ですが、単に別の固定ネジが付属しているものもあります)。



- AM50 iQアプライアンスをインストールする場合は、ディスプレイのファームウェアバージョンが1.8.7以降であることを確認してください。ディスプレイのファームウェアバージョンが古い場合、ディスプレイが正しく機能しない可能性があります。

参照 > 27 ページ [ディスプレイのファームウェアを更新する](#)

- ディスプレイの電源を入れる前に、Intel Compute Cardが挿入されていることを確認してください。

## ディスプレイのファームウェアアップデートのためのネットワークの設定

Wi-Fiまたはイーサネット 接続で、ディスプレイをネットワークに接続することができます。ディスプレイを接続する前に、組織のネットワーク管理者は、自動ファームウェアの更新を許可するためにネットワークを構成する必要があります。

### ネットワークを設定するには

1. ファームウェアの自動更新に必要なポートを開放する:

プロトコル	ポート範囲
TCP	80

2. ネットワークの許可リストに以下のURLを追加してください:

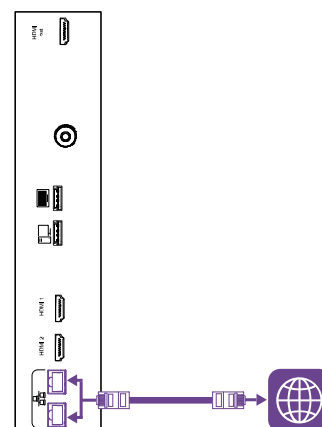
- <http://api.lango-tech.cn>
- <http://lango-tech.cn/>
- <http://otaa.lango-tech.cn>
- <http://otag.lango-tech.cn>
- <http://downloads.smarttech.com>

## ネットワークに接続

ディスプレイを接続する前に、組織のネットワーク管理者は、ユーザーがディスプレイのファームウェアを自動的に更新し、iQのすべての機能を使用できるようにネットワークを構成する必要があります。

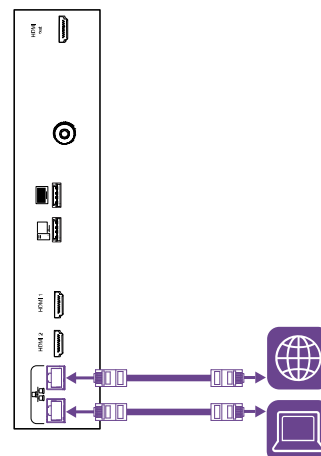
参照 > [support.smarttech.com/docs/iq3networksetup](http://support.smarttech.com/docs/iq3networksetup)

このディスプレイには、ソフトウェアとファームウェアのアップデートをダウンロードするためのインターネット接続が必要で、多くのiQアプリにもネットワーク接続が必要です。Wi-FiまたはRJ45ジャックのいずれかに接続されたイーサネットケーブルでネットワークに接続できます。



### ヒント

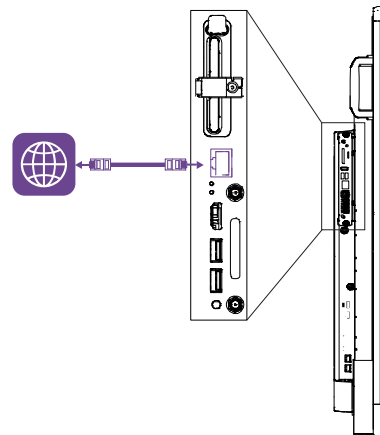
ディスプレイのRJ45ジャックをネットワークへの接続に使用する場合、コンピューターからネットワークへのアクセス用には別のRJ45ジャックを接続することができます(図)。これは室内に有線ネットワーク接続がつかない場合に特に役立ちます。ネットワークアクセスは、[設定]で[ネットワークスタンバイ]が有効になっている場合に使用できますが、[設定]で[スタンバイ]が有効になっている場合は使用できません。



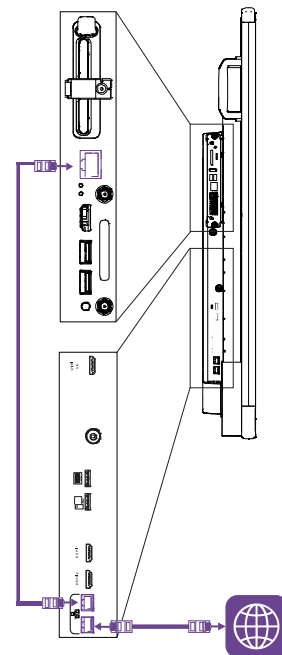
## AM50 iQ機器

SBID-MX365、SBID-MX375、およびSBID-MX386モデルに含まれるAM50アプライアンスをネットワークに接続する方法は3つあります：

- Wi-Fi を使用して接続する
- ネットワークコンセントからイーサネットケーブルをAM50機器のRJ45ジャックに直接接続します。



- イーサネットケーブルをネットワークコンセントからディスプレイのRJ45ジャックの1つに接続し、別のイーサネットケーブルをディスプレイの他のRJ45ジャックからAM50アプライアンスのRJ45ジャックに接続します



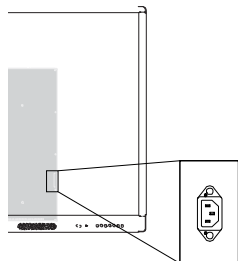
## 電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際

ディスプレイの設置と構成の最後のステップは、電源を接続してディスプレイの電源を入れ、ウィザードの手順に従ってiQを構成することです。

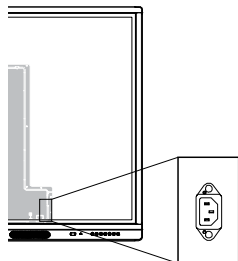
## ディスプレイの電源への接続

付属の電源ケーブルでコンセントとディスプレイ背面のAC電源入力を接続します。

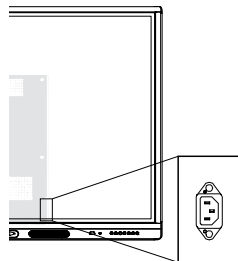
65" モデル



75" モデル



86" モデル



### 注記

電力要件と消費電力についてはディスプレイの仕様を参照してください。

## 初めてディスプレイをオンにしてiQを設定するには

### ❗ 重要事項

このディスプレイには、重要な更新をダウンロードしてインストールするためのインターネット接続が必要です。ネットワーク管理者に依頼し、ネットワークがiQ用に正しく設定されていることを確認してください。

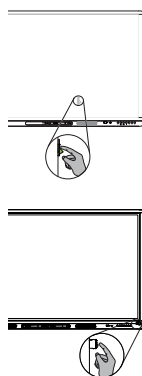
参照 > 13 ページ ネットワークに接続

### 注記

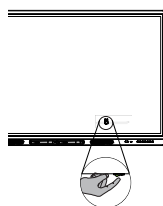
- ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレイがタッチに反応するようになります。
- USBドライブがディスプレイのサービスポートレセプタクルに接続されている場合は、USBドライブを取り外さないでください。USBドライブには重要なファームウェアの更新情報が含まれている可能性があります。

1. AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフリックします。

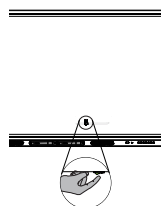
65" モデル



75" モデル



86" モデル



2. 希望の言語を選択し、**次へ**をタップします。
3. 国名を選択し、**次へ**をタップします。
4. タイムゾーンを選択し、**次へ**をタップします。
5. 日付を設定し、**次へ**をタップします。
6. 時刻を設定し、**次へ**をタップします。
7. ディスプレイに名前を付け、**次へ**をタップします。
8. ディスプレイで有線ネットワーク接続を使用しない場合、無線ネットワークを選択し、**次へ**をタップします。
9. アプリライブラリに表示させたいアプリを選択し、**次へ**をタップしてください。  
関連項目 > 31 ページ アプリケーションの設定
10. **完了**をタップします。

ようこそ画面が表示されます。

または

このディスプレイは、ファームウェアとシステムソフトウェアのための更新をダウンロードして適用します。



# 第3章 コンピュータおよび他のデバイスの接続

SMARTソフトウェアのインストール	17
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続	18
接続したコンピューターの入力の表示	19
接続されたコンピューターの解像度とリフレッシュレートの設定	19
その他のデバイスの接続	20
USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続	21
外部オーディオシステムの接続	22
室内コントローラの接続	23
コネクタ図	24
側面と底面のコネクタパネル	24
前面コネクタパネル	25
AM40およびAM50機器	25

## ⚠ 警告

床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。

## SMARTソフトウェアのインストール

ディスプレイには、接続した部屋のコンピューターやゲストのラップトップにインストールできるSMARTソフトウェアが付属しています。その他のSMARTソフトウェアはオプションです。

### 含まれています



SMART Notebook



SMART Product Drivers と Ink

SMART Remote Management  
SMART Remote Management<sup>1</sup>

### オプション



Lumio by SMART



SMART Notebook Plus

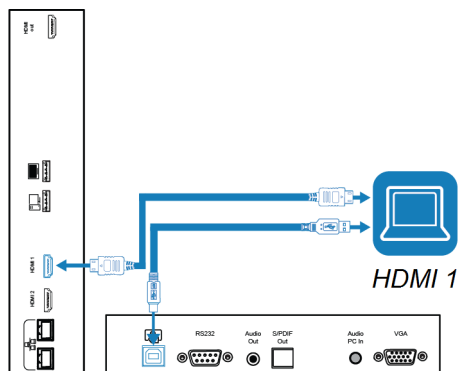
参照 > [smarttech.com/downloads](https://smarttech.com/downloads)

<sup>1</sup>保証期間のサブスクリプション

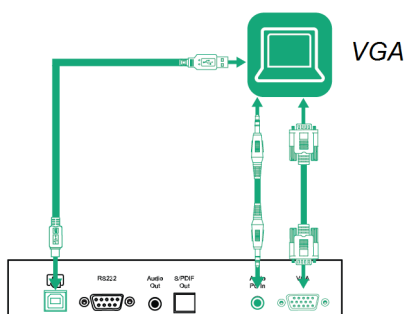
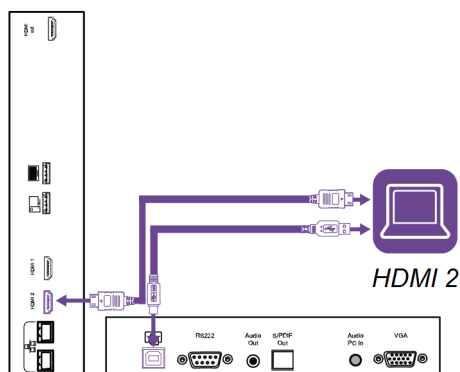
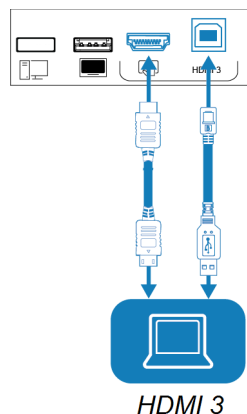
## ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続

ルームコンピュータとゲストのノートパソコン用のケーブルを接続できます。ディスプレイを壁に搭載した後は、接続ポートに手が届きにくくなるため、これらの周辺機器等のケーブルを先に接続しておきます。接続したケーブルは、適宜、床や壁裏などに配線します。

側面と底面のコネクタパネル



前面コネクタパネル




### ⚠ 注意事項

USBケーブルをコンピュータに接続する場合は、コンピュータにUSB準拠のインターフェースがあり、USBロゴが付いていることを確認してください。また、USB接続元のコンピュータは、IEC 62368-1に準拠している必要があります。このソースコンピュータにはカナダおよび米国のCEマークと安全認証マークが付いていなければなりません。こうした規定は、安全な操作と、ディスプレイへの損傷を防ぐためのものです。 In addition, the USB source computer must be compliant with IEC 62368-1. The source computer must be CE marked and carry safety certification marks for Canada and USA. This is for operating safety and to avoid damage to the ディスプレイ.

### 注記

- ディスプレイに接続する全てのコンピュータにSMARTソフトウェアをインストールしてください。  
参照 > 17 ページ SMARTソフトウェアのインストール
- 接続されたコンピューターが「USB ハブが多すぎます」または「起動できません (コード 10)」と報告する場合は、ナレッジベースの記事 [SMART Board インタラクティブディスプレイとUSB層構造の使用](#)を参照してください。

## 接続したコンピューターの入力の表示

1. ディスプレイにコンピューターを接続します。
2. 前面コントロールパネルの入力  を押してください。

入力選択メニューが表示されます。

### 注記

接続されたデバイスのある入力は青色で表示され、接続がない入力は黒色で表示されます。

3. コンピュータの入力メニューオプションをタップします。

## 接続されたコンピューターの解像度とリフレッシュレートの設定

この表は、ディスプレイのHDMI入力の推奨解像度とリフレッシュレートを示しています。

解像度	入力アスペクト比	モード :	リフレッシュレート
3840 × 2160	16:9	UHD / 2160p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz

解像度	入力アスペクト比	モード :	リフレッシュレート
1920 × 1080	16:9	FHD / 1080p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz
1360 × 768	16:9	HD	60.015 Hz
1366 × 768	16:9	HD	60.015 Hz
1280 × 720	16:9	HD / 720p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz
720 × 480	16:9	480p (DVDプレーヤー)	60 Hz

この図はディスプレイの入力の推奨解像度とリフレッシュレートを提示します。

解像度	入力アスペクト比	モード :	リフレッシュレート
1920 × 1080	16:9	N/A	60.000 Hz
1600 × 1200	4:3	N/A	60.000 Hz
1360 × 768	16:9	N/A	60.015 Hz
1280 × 1024	5:4	SXGA 60	60.020 Hz
1024 × 768	4:3	XGA 60 XGA 70 XGA 75	60.004 Hz 70.069 Hz 75.029 Hz
800 × 600	4:3	SVGA 60 SVGA 72 SVGA 75	60.317 Hz 72.188 Hz 75.000 Hz
640 × 480	4:3	VGA 60	59.940 Hz

可能ならば、これらの解像度とリフレッシュレートに接続されたコンピューターを設定してください。手順に関しては、接続しているコンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

関連項目 > [support.smarttech.com/docs/resandrefreshrates](http://support.smarttech.com/docs/resandrefreshrates)

## その他のデバイスの接続

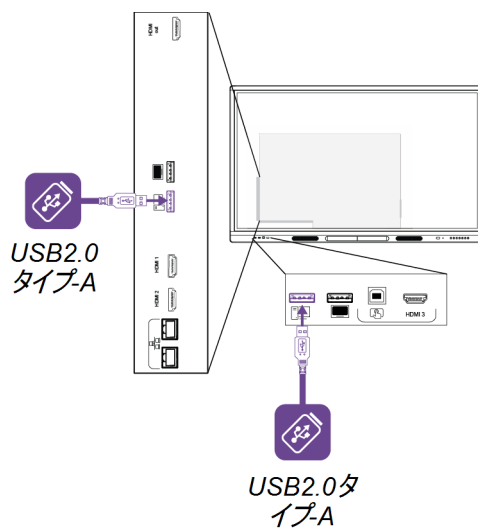
コンピューターに加えて、さまざまな他のデバイスをディスプレイに接続することができます。

- USBドライブ、周辺機器、およびその他のデバイス
- 外部ディスプレイ

- 外部オーディオシステム
- 室内制御システム

## USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続

ディスプレイには、次のUSBレセプタクルが含まれています。これらのレセプタクルに、USBドライブ、周辺機器（キーボードなど）、その他のデバイスを接続して、iQ、接続されたコンピュータ、およびOPSアクセサリスロットに取り付けられたOPSモジュールでデバイスを使用できます。



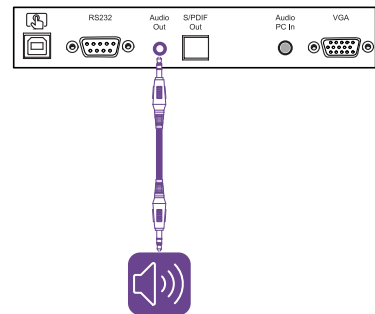
USB Type-Aレセプタクルは、以下の入力（Hi-Speed、480 Mbps）で使用できます：

- iQ
- HDMI 1
- HDMI 2
- HDMI 3
- VGA
- OPS アクセサリスロット

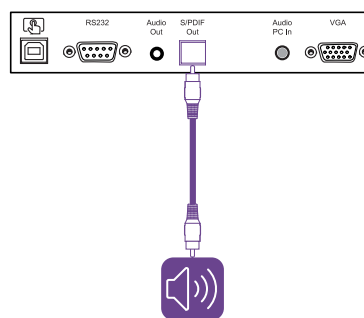
## 外部オーディオシステムの接続

ディスプレイにはスピーカー2台が付属し、これらスピーカーは室内の正面で音を出すよう設計されています。より広いスペースでサウンドを提供する場合は、外部オーディオシステムを接続する事もできます。

ステレオ3.5mm出力コネクタを使用して、ディスプレイを外部オーディオシステムに接続できます。これによりディスプレイの内部スピーカーが無効になります。室内のコンピューターに直接的に外部音声システムを接続する事もできます。



ディスプレイには、3.5mmステレオ出力ポートのほか、ソニー/フィリップスデジタルインターフェース(S/PDIF)出力ポートも搭載されています。S/PDIFは、デジタルオーディオを伝送する媒体です。この接続をアナログにデコードするには、S/PDIF入力を持つオーディオシステムが必要です。ほとんどの外部サウンドバーにはS/PDIFコネクタが付いています。



#### 注記

S/PDIFオーディオは固定音量出力です。ディスプレイのスピーカーの音量を調整しても、S/PDIF出力には影響しません。

### 室内コントローラの接続

室内制御システムでは、部屋の照明、オーディオシステムとディスプレイを制御することができます。一部の設置のケースでは、ディスプレイを室内制御システムと統合させる必要があります。Some installations may require you to integrate the ディスプレイ with a room control system.

ディスプレイのRS-232コネクタを使用して、サードパーティ製の外付けコントローラをディスプレイに接続することができます。

参照 > 42 ページ *RS-232を使用したディスプレイの管理*

#### 注記

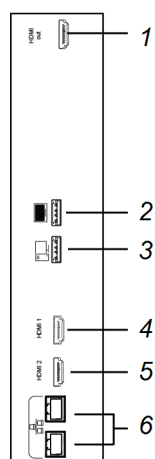
ディスプレイは、ユニバーサルリモートコントロールなどの一元的な遠隔制御システムとの互換性はありません。

## コネクタ図

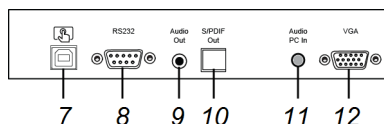
### 側面と底面のコネクタパネル

下の図表は、ディスプレイの側面と底面のコネクタパネルを示しています。

側面



下



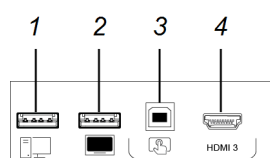
No.	コネクタ	接続部分	注
1	HDMI 1.4出力 (HDCP準拠)	外付けモニター	<p>このコネクタは、HDCP暗号化HDMIです。</p> <p><b>注記</b></p> <p>HDMI出力はオプション機能です。詳しい注文方法については、SMART正規販売店 (<a href="http://smarttech.com/where">smarttech.com/where</a>)にお問い合わせください。</p>
2	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	<p>ディスプレイのファームウェアを更新するにはUSBドライブを接続してください。</p> <p><b>注記</b></p> <p>ディスプレイのトラブルシューティングを行う場合は、USBマウスを接続してディスプレイのオンスクリーンメニューを操作してください。</p>
3	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	参照 > 21 ページ
4	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	参照 > 18 ページ
5	HDMI 2.0 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	参照 > 18 ページ



No.	コネクタ	接続部分	注
6	RJ45 (×2)	ネットワーク	参照 > 13 ページ
7	USB2.0タイプ-B	HDMI 1、HDMI 2、またはVGA入力(タッチ式)	参照 > 18 ページ
8	RS-232	室内制御システム	参照 > 42 ページ
9	3.5 mmステレオ出力	外部オーディオシステム	参照 > 22 ページ
10	S/PDIF 出力	デジタルオーディオ出力	参照 > 22 ページ
11	3.5 mmステレオ入力	VGA入力 (オーディオ)	参照 > 18 ページ
12	VGA IN	VGA入力 (ビデオ)	参照 > 18 ページ

## 前面コネクタパネル

次の図と表は、ディスプレイの前面コネクタパネルにあるコネクタを示しています：



No.	コネクタ	接続部分	注
1	USB2.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	参照 > 21 ページ
2	USB2.0タイプ-A	対応するUSBドライブ	ディスプレイのファームウェアを更新するにはUSBドライブを接続してください。
3	USB2.0タイプ-B	HDMI 3入力(タッチ)	参照 > 18 ページ
4	HDMI 1.4 IN	HDMI 3入力(ビデオおよびオーディオ)	参照 > 18 ページ

## AM40およびAM50機器

参照 > [iQアプライアンス・コネクタパネルをご覧ください。](#)

# 第4章 ディスプレイを更新する

iQシステムソフトウェアの更新 .....	26
自動システムソフトウェアの更新の手動での適用 .....	26
システムソフトウェアの手動更新 .....	27
ディスプレイのファームウェアを更新する .....	27

## iQシステムソフトウェアの更新

ディスプレイがインターネットに接続すると、システムソフトウェアが自動的に更新されます。

システムのソフトウェアの更新が利用可能な場合、ディスプレイがバックグラウンドで更新をダウンロードした後、4時間の無活動状態を待機します。インストール実行前には2分間のカウントダウンが表示されます。カウントダウンはいつでも停止できます。カウントダウンが終了すると更新が開始します。画面は4分間、空白になります。アップデートが完了するとホーム画面が表示されます。

更新をインストールしている間は、タッチと、フロントコントロールパネル、そしてリモコンは応答しません。

関連項目 > 27 ページ [ディスプレイのファームウェアを更新する](#)

### 注記


設置場所のネットワークを使用して、システムソフトウェアの自動アップデートを実行させないように設定することができます。

参照 > [ネットワークに接続](#)

## 自動システムソフトウェアの更新の手動での適用

ディスプレイがシステムソフトウェアの更新プログラムをダウンロードし、更新プログラムをまだ適用していない場合は、設定メニューから更新プロセスを手動で開始することができます。

### iQシステムソフトウェアの自動更新を手動で適用する

1. ホーム画面で、**設定**  をタップします。
2. **自動更新**までスクロールします。
3. **更新プログラムを今すぐ確認**の下にある、**更新を今すぐ適用**をタップします。

## システムソフトウェアの手動更新

[smarttech.com/downloads](http://smarttech.com/downloads)でシステムのソフトウェアの更新をダウンロードし、USBドライブを使用してディスプレイを更新します。

## ディスプレイのファームウェアを更新する

ディスプレイの日付と時刻が正しく設定され、ディスプレイがインターネットに接続されている場合、ディスプレイは自動的にファームウェアの更新を確認します。ファームウェアの更新が可能な場合は、ディスプレイに通知されます。

参照 > 33 ページシステム設定

ディスプレイがインターネットに接続されており、ディスプレイのファームウェアの更新が可能な場合、更新が可能であることを示すメッセージを表示します。

- **更新**をタップして、ディスプレイのファームウェアを更新します。
- **無視**をタップすると、その特定のファームウェアの更新をスキップすることができます。ディスプレイは、手動で更新を確認しても、その更新は適用されません。
- **[キャンセル]**をタップして、後でディスプレイのファームウェアを更新します。

しばらくして何も選択されないと、自動的にファームウェアの更新が適用されます。

更新をインストールしている間は、タッチと、フロントコントロールパネル、そしてリモコンは応答しません。

参照 > 12 ページディスプレイのファームウェアアップデートのためのネットワークの設定

関連項目 > 26 ページiQシステムソフトウェアの更新

## 第 5 章 トラブルシューティング

### ディスプレイおよび関連するSMART製品のトラブルシューティング

SMARTウェブサイトのサポートセクションには、ディスプレイや関連するSMART製品に関するさまざまな一般的な問題の解決に関する情報が掲載されています。

参照 > [support.smarttech.com/docs/mxtroubleshooting](https://support.smarttech.com/docs/mxtroubleshooting)

### その他のサポート、販売店へのお問い合わせ

ディスプレイの問題が解決しない場合、またはSMART Webサイトのサポートセクションに対処法が記載されていない場合は、認定SMART販売店 ([smarttech.com/where](https://smarttech.com/where)) に連絡してサポートを依頼してください。

販売店がディスプレイのシリアル番号をお伺いする場合がございます。

シリアル番号は、ディスプレイの下部フレームと背面にあるラベルに記載されています。


関連項目 > [support.smarttech.com/docs/applianceserialnumlocation](https://support.smarttech.com/docs/applianceserialnumlocation)

シリアル番号はiQ設定で確認することもできます。

参照 > 33 ページシステム設定

# 付録 A iQ設定の調整

ネットワークの設定	29
カスタマイズ	30
アプリケーションの設定	31
システム設定	33

ホーム画面にある  アイコンから設定画面にアクセスできます。

## 注記

- 設定は、ユーザーまたはシステム全体に適用可能です。ユーザーレベルの設定は、サインインしているユーザーによって変わります。システムレベルの設定はすべてのユーザーに適用されます。詳細については設定を参照してください。
- あなたがSMARTアカウントにサインインしている間は、一部の設定を使用できません。全ての設定を見るために、ディスプレイのSMARTアカウントからサインアウトしてください。

## ネットワークの設定

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ Wi-Fi				
▶ Wi-Fi	の上 オフ	Wi-Fiをディスプレイで有効または無効にする。	Wi-FiをONにしてネットワークを検索します。	システム
• [Wi-Fiネットワーク名]	N/A	接続されたワイヤレスネットワークについての情報を表示します。	N/A	システム
• Wi-FiのMACアドレス	N/A	ディスプレイのWi-FiネットワークアダプターのMACアドレスを表示します。	N/A	システム
• Wi-FiのIPアドレス	N/A	ディスプレイのWi-FiネットワークアダプターのIPアドレスを表示します。	N/A	システム
▶ SMART iQイーサネット				
▶ 高度なオプション				
• スタティックIP (DHCPを使用)	の上 オフ	DHCPを有効または無効にして、ディスプレイにIPアドレスを割り当てます。	N/A	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロキシ(プロキシを使用)</li> </ul>	の上 オフ	ネットワークに接続するためにプロキシサーバーを有効または無効にする。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロキシ(自動構成)</li> </ul>	の上 オフ	ネットワークに接続するためプロキシサーバーの自動設定を有効または無効にする。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>MACアドレス</li> </ul>	N/A	ディスプレイのイーサネットネットワークアダプタのMACアドレスを表示します。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>IPアドレス</li> </ul>	N/A	ディスプレイのイーサネットネットワークアダプタのIPアドレスを表示します。	N/A	システム
<b>▶ Bluetooth</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>Bluetooth</li> </ul>	の上 オフ	ディスプレイのBluetoothを有効または無効にします。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用可能なBluetoothデバイスを表示</li> </ul>	N/A	使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	システム
<b>▶ SMARTクラウド</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス地域</li> </ul>	N/A	サービス地域を表示します。	N/A	システム

## カスタマイズ

### 注記

iQが無効になっている場合、これらの設定は使用できません。

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>壁紙</li> </ul>	[壁紙]	背景に表示する壁紙を選択します。	1920×1080サイズの画像が最適です 本ディスプレイは.pngおよび.jpgのファイル形式をサポートしています。 参照 > <a href="#">ディスプレイの壁紙の変更</a>	ユーザー

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>壁紙</li> </ul>	[壁紙]	背景に表示する壁紙を選択します。	1920×1080サイズの画像が最適です 本ディスプレイは.pngおよび.jpgのファイル形式をサポートしています。 参照 > <a href="#">ディスプレイの壁紙の変更</a>	ユーザー

# アプリケーションの設定

## 注記

iQが無効になっている場合、これらの設定は使用できません。

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ ランチャー</b>				
• ブラウザー	の上 オフ	ライブラリアプリでブラウザを有効もしくは無効にします。	N/A	ユーザー
• 画面の共有	の上 オフ	ライブラリアプリでスクリーンシェアを有効もしくは無効にします。	N/A	ユーザー
<b>▶ ファイルライブラリ</b>				
<b>▶ ホワイトボードストレージ</b>				
• デフォルトのホワイトボードの場所	マイファイル> Lumio マイファイル> ボードファイル	SMARTアカウントにサインインしているときに、新しいホワイトボードファイルが保存される場所を設定します。	参照 > <a href="#">SMART NotebookおよびLumioのファイルをiQエクスペリエンスに同期する</a>	ユーザー
<b>▶ ファイルストレージ</b>				
• ファイルライブラリでGoogleドライブの統合を許可する	の上 オフ	SMARTアカウントにサインインしているときにGoogleドライブ™へのアクセスを有効または無効にします。	参照 > <a href="#">GoogleドライブまたはOneDriveをディスプレイで開く</a>	ユーザー
• ファイルライブラリでOneDriveの統合を許可する	の上 オフ	SMARTアカウントにサインインしているときにOneDrive™へのアクセスを有効または無効にします。	参照 > <a href="#">GoogleドライブまたはOneDriveをディスプレイで開く</a>	ユーザー
<b>▶ SMARTホワイトボード</b>				
<b>▶ ホワイトボードストレージ</b>				
• 保存を許可	の上 オフ	kappホワイトボードセッションの保存を有効もしくは無効にします。	N/A	システム
• ホワイトボード削除ポリシー	1週間後に削除 1か月後に削除 手動で削除	SMARTホワイトボードの保存期間を設定します。	N/A	システム
<b>▶ 画面の共有</b>				
• デフォルトのスクリーン共有アプリ	SMARTスクリーン共有	メイン画面から画面共有を選択したときに使用するデフォルトの画面共有アプリを設定します。	SMART画面共有はデフォルトで選択されています。	システム
• 許可が必要	の上 オフ	画面を共有するデバイスからの自動接続を有効または無効にします。		システム
• AirPlay	の上 オフ	AirPlayのプロトコルを有効または無効にします。	AirPlayはデフォルトで有効になっています。	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Cast</li> </ul>	の上 オフ	Google Castのプロトコルを有効または無効にします。	Google Castはデフォルトで有効になっています。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Miracast</li> </ul>	の上 オフ	Miracastのプロトコルを有効または無効にします。	<p>Miracastはデフォルトで有効になっています。</p> <p><b>① 重要事項</b> Miracastデバイスを接続している間は、AirPlayとGoogleキャストを使用している端末はディスプレイに接続できません。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンスのログ</li> </ul>	の上 オフ	SMARTサポートでは、問題の診断に役立つパフォーマンスログを有効にするようユーザーに求める場合があります。	パフォーマンスログはデフォルトでは無効になっています。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>MiracastのWiFiから自動切断する</li> </ul>	の上 オフ	有効にすると、デバイスがMiracastを使用して画面を共有している場合、ディスプレイがネットワークから切断されます。	<p>SMARTは、ネットワークの飽和度が高いエリアや、ネットワークが混雑しているエリアに対しては、この設定を有効にすることを推奨しています。</p> <p><b>① 重要事項</b> Miracastが有効な場合、ディスプレイに接続可能なデバイスは一つだけです。 この設定はかつて、「Miracastの接続の取り扱い」と呼ばれていました。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>画面の共有をリセットします</li> </ul>	N/A	スクリーンシェアアプリとディスプレイサービスを閉じて再起動します。	モバイルデバイスまたはコンピューターが検出できないか、ディスプレイに接続できない場合は、Screen Share機能を再起動してトラブルシューティング手順を実行します。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Webプレーヤーを使用する</li> </ul>	の上 オフ	有効にすると、ディスプレイは別の方法でビデオをストリーミングします。	このメソッドが機能しない場合、無効にして元のメソッドに戻してください。	システム
<b>▶ 通知</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>おやすみモード</li> </ul>	の上 オフ	有効にすると、どのアプリの通知も表示されなくなります。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>[アプリ]</li> </ul>	の上 オフ	有効にすると、アプリの通知がディスプレイに表示されます。	N/A	ユーザー
<b>▶ インストールされているアプリ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリストアを許可する</li> </ul>	の上 オフ	有効にすると、App Storeが利用可能になり、ディスプレイは新しいアプリをダウンロードしてインストールできるようになります。	N/A	ユーザー



# システム設定

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ 日付と時刻</b>				
• 自動日付と時刻	の上 オフ	ディスプレイの日付および時間を自動で設定します。	ネットワークタイムプロトコル (NTP) からインターネット時刻サーバーへの要求を許可するよう、ネットワークを設定します。 参照 > <a href="#">ネットワークに接続</a>	システム
• 日付	N/A	ディスプレイの日付を設定します。	<b>自動日付 &amp; 時刻</b> を無効にすると、手動で日付を設定できません。	システム
• 時間	N/A	ディスプレイの時間を設定します。	<b>自動日付 &amp; 時刻</b> を無効にすると、手動で時刻を設定できません。	システム
• 24時間形式の時刻	の上 オフ	24時間制を使用してディスプレイの時間を表示します。	N/A	ユーザー
• タイムゾーン	N/A	ディスプレイのタイムゾーンを設定します。	N/A	システム
<b>▶ 言語</b>				
• システム言語	[言語]	設定メニューで言語を設定する。	SMART Board MX シリーズディスプレイのオンスクリーンディスプレイメニューで異なる言語を選択するには、37 ページディスプレイ設定の調整を参照してください。	ユーザー
• インクからテキストへの言語	[言語]	文章をテキストに変換する際の言語を設定する。	言語のインストールおよびアンインストールすることができます。 参照 > <a href="#">テキストペンでインクからテキストへの言語を設定する</a>	ユーザー
• キーボード言語	物理キーボード スクリーンキーボードを使用する キーボードショートカット	スクリーンキーボードの設定を選択する	N/A	システム
• 国	国	ディスプレイの国を設定する。	N/A	システム
<b>▶ 診断</b>				
• 工場出荷時リセット	N/A	すべてのオプションをデフォルト値にリセットします。	ディスプレイのリセットは管理者以外には行わないでください。	N/A
• ログファイルをUSBキーに保存する	N/A	USBドライブを使用するため診断ログをコピーする。	ログはUSBドライブにZIPファイルとして保存されます。	N/A
• ログファイルをSMARTIに送信する	N/A	SMARTIに診断ログを送信します。	N/A	N/A


オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>操作性を向上します</li> </ul>	の上 オフ	使用状況統計、エラーレポートをSMARTに送信する。	N/A	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートID</li> </ul>	[サポートID]	ディスプレイ用のサポートIDを表示する。	SMARTサポートのアドバイスにより、ボードのサポートIDとの組み合わせでのみ、このオプションを有効にします。	N/A
<b>▶ ログサービス</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログサービスを有効化する</li> </ul>	の上 オフ	USBドライブへのログの保存を有効または無効にする	このオプションにより、一時的なiQシステムログファイルは、デバイスのストレージスペースを犠牲にして、システムの再起動後も存続することができます。	システム
<b>▶ ログレベル</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルRAW</li> </ul>	の上 オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルSPM</li> </ul>	の上 オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルRATP</li> </ul>	の上 オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルSEP</li> </ul>	の上 オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルEXT</li> </ul>	の上 オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	N/A	システム
<b>▶ セキュリティ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定をロック</li> </ul>	N/A	USBドライブにあるセキュリティ証明書を使用して、ディスプレイの設定をロックします。	参照 ▶ <a href="#">設定アプリをロック</a>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードを表示させる</li> </ul>	の上 オフ	アプリまたはWebサイトでパスワードを入力するときに文字が表示される	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書をインストールします</li> </ul>	N/A	ネットワークに接続するためのセキュリティ証明書をインストールする。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書の表示</li> </ul>	N/A	インストールされている証明書を表示する。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ルートCA証明書の表示</li> </ul>	N/A	インストールされているルートCAセキュリティ証明書を表示します。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動非アクティブログアウト</li> </ul>	無効 1時間 8時間 12時間	非アクティブの時間が経過すると、自動的にユーザーをログアウトします。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動ログインを有効にする</li> </ul>	の上 オフ	有効な場合、ユーザーを自動的にログインさせる	デフォルトはオフです。	システム
<b>▶ 整理します</b>				

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>ポリシーを整理します。</li> </ul>	無効 <b>クリーンアップ</b> ボタンで手動でリセットします。 1時間 2時間 3時間 1日	ディスプレイのクリーンアップの頻度を設定します。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラウザを整理します</li> </ul>	N/A	ブラウザのタブを閉じ、履歴とキャッシュ、クッキーを消去する。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリのデータと環境設定のクリーンアップ</li> </ul>	N/A	開いているアプリをすべて閉じ、アプリのデータと環境設定をクリアにする。	N/A	システム
<b>▶ ソフトウェアの更新</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>更新プログラムチャンネル</li> </ul>	安定チャンネル ベータチャンネル	どのiQシステムソフトウェアがディスプレイの受信を更新するかを設定する。	BetaからStableチャンネルに切り替えると、工場出荷時初期設定にリセットされます。 参照 > 33 ページ 参照 > <a href="#">ベータチャンネルへの切り替え</a>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>今すぐ更新を確認 (C)</li> </ul>	N/A	システムのソフトウェアの更新を確認します。	利用可能な更新プログラムがある場合、表示が更新を適用するに変わります。 システムソフトウェアのアップデートを確認するには、ディスプレイをインターネットに接続するか、システムソフトウェアアップデートファイルを含むUSBドライブがディスプレイに接続されている必要があります。	N/A
<b>▶ リモート管理</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート管理の設置を起動</li> </ul>	N/A	SMART Remote Managementを使用して、ディスプレイの接続設定を構成します。	このオプションは、SMART Remote Management が有効な場合にのみ有効になります。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート管理が有効になっています</li> </ul>	の上 オフ	ディスプレイで SMART Remote Management を有効または無効にします。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Radix Visoバージョン</li> </ul>	N/A	Radix Visoバージョンを表示します	N/A	システム
<b>▶ バージョン情報</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボード名</li> </ul>	N/A	ディスプレイの名前を選択します。	N/A	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルプ</li> </ul>	N/A	iQのSMARTサポートサイトを表示します。	N/A	N/A
<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードバックを送信します</li> </ul>	N/A	SMARTに機能要請を送信します。	N/A	N/A

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ ボードの詳細</b>				
• ビルド番号	N/A	iQシステムソフトウェアのバージョンナンバーが表示されます。	N/A	N/A
• シリアル番号	N/A		N/A	N/A
• 部品番号	N/A	ディスプレイの部品番号を表示します。	N/A	N/A
• モデル番号	N/A	ディスプレイの基本モデル番号を表示します。 62xxSまたは64xxSのSKUとして購入されたディスプレイは、60xxSの基本モデル番号を持っています。	N/A	N/A
• 構成	EDU-iQ(教育iQエクスペリエンス) ENT-iQ(エンタープライズiQエクスペリエンス) ENT-NoiQ(エンタープライズ、iQを使用しないディスプレイのみの構成)	ディスプレイのiQシステム構成を表示します。	N/A	N/A
<b>▶ ファームウェアの詳細</b>				
• タッチコントローラーのファームウェアバージョン	N/A	ディスプレイのタッチコントローラーのファームウェアバージョンを表示します。	N/A	N/A
• スカラーバージョン	N/A	ディスプレイのスカラーバージョンを表示します。	N/A	N/A
<b>▶ 法令情報</b>				
• 使用許諾契約書	N/A	SMART使用許諾契約書を表示します。	N/A	N/A
• オープンソースライセンス	N/A	オープンsourceライセンスを表示します。	N/A	N/A
• SMARTの知的財産	N/A	SMART知的所有権情報を表示します。	N/A	N/A

# 付録 B ディスプレイ設定の調整

ネットワーク	37
画面ロック	38
詳細	38
更新	40
リカバリ	40
バージョン情報	40
ディスプレイ設定の終了	41

前面コントロールパネルのメニューボタンを使用して、ディスプレイの設定にアクセスできます。

## ネットワーク

オプション	値	機能	注
<b>▶ イーサネット</b>			
• イーサネット	有効 無効にする	有線RJ45ジャックによるネットワーク接続の有効または無効を設定します。	イーサネットを有効にし、Wi-Fiを無効にする。
• IPアドレスを自動で取得	有効 無効にする	ディスプレイは、ネットワーク上のDHCPサーバーから自動的にIPアドレスを取得します	Wi-Fiホットスポットを有効にすると、Wi-Fiを使ってモバイルデバイスをディスプレイに接続し、画面共有することができます。
• 静的IPアドレス	有効 無効にする	静的IPアドレスを入力する。	オンスクリーンキーボードを使用するか、USBキーボードを前面コネクタパネルのUSB Type-Aレセプタクルに接続して、情報を入力します。
• Wi-Fi	有効 無効にする	ワイヤレスでネットワークに接続することを有効または無効にする。	Wi-FiをONにするとネットワークを検索します。 Wi-Fiを有効にすると、Ethernetが無効になります。
<b>▶ Wi-Fiホットスポット</b>			
• Wi-Fiホットスポット	有効 無効にする	Wi-Fiホットスポットの有効または無効を設定する。	N/A
• Wi-Fiホットスポットの設定	N/A	ネットワーク名、セキュリティ、パスワード、アクセスポイント頻度を設定する	オンスクリーンキーボードを使用するか、USBキーボードを前面コネクタパネルのUSB Type-Aレセプタクルに接続して、情報を入力します。
• ネットワーク状況	N/A	ディスプレイの現在のネットワーク接続に関する情報を表示する。	N/A

## 画面ロック

オプション	値	機能	注
▶ 画面モードをロックする			
<ul style="list-style-type: none"> <li>画面モードをロックする</li> </ul>	有効 無効にする	ロック画面のオン / オフ。	ロック画面は、ディスプレイのスリープ解除後に表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージ</li> </ul>	N/A	ロック画面用のカスタム画像を選択する。	.png、.jpg、および.bmpのファイルのみ対応 壁紙ファイルをUSBドライブに保存し、前面コントロールパネルのUSB Type-Aレセプタクルにドライブを挿入します。 参照 ▶ 24 ページコネクタ図
<ul style="list-style-type: none"> <li>無効にする</li> </ul>	N/A	ロック画面のカスタム画像をオフにする。	N/A
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロック画面のパスワード</li> </ul>	有効 無効にする	ロック画面の解除にPINを設定する。	N/A
<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティの設定</li> </ul>	有効 無効にする	特定の設定にアクセスするためのPINを設定。	設定のセキュリティが有効な場合、「詳細設定」と「設定について」のみが利用可能です。その他の設定にアクセスするには、設定をタップしてPINを入力します。

## 詳細

オプション	値	機能	注
▶ ディスプレイ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>壁紙</li> </ul>	N/A	ディスプレイの背景画像を設定する。	.png、.jpg、および.bmpのファイルのみ対応 壁紙ファイルをUSBドライブに保存し、前面コントロールパネルのUSB Type-Aレセプタクルにドライブを挿入します。 参照 ▶ 24 ページコネクタ図
<ul style="list-style-type: none"> <li>ランチャー</li> </ul>	[アプリ]	ランチャーに表示するアプリを選択する。	N/A
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面</li> </ul>	[アプリ]	ホーム画面に表示するアプリを3つ選択する。	ホーム画面から削除したいアプリをタップする。次に、代わりにホーム画面に表示させたいアプリを選択する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI出力</li> </ul>	480p 1080p 4K	出力解像度の設定。	ディスプレイのHDMI出力信号を受信しているデバイスが、選択した出力解像度と一致していることを確認してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>スリープ</li> </ul>	15分 30分 45分間 60分 常にオン	時間間隔を選択すると、接続されているコンピュータやデバイスの電源が入ったままでも、ディスプレイの画面が消灯します。	iQが選択されている場合、時間間隔を選択してもディスプレイの画面はオフになりません。

オプション	値	機能	注
<b>▶ 輝度および音量</b>			
• 自動	N/A	部屋の明るさに応じて、ディスプレイの明るさを自動的に設定します。	環境光センサーは室内の明るさを検知し、画面の明るさを調整します。
• 取扱説明書	N/A	ディスプレイの輝度レベルを設定する。	<b>自動</b> を無効にして、輝度をマニュアルで設定する。
• 音量	N/A	ディスプレイの音量レベルを設定する。	N/A
<b>▶ OTA</b>			
• OTA サーバー	[OTAサーバー]	ディスプレイが更新するために接続するサーバーを設定する。	デフォルトは <b>自動</b> です。 システムソフトウェアの更新を確認するには、ディスプレイがインターネットに接続されている必要があります。
• 更新の自動確認	有効 無効にする	ディスプレイのファームウェアの更新を確認し、ダウンロードすることを有効または無効にします。	デフォルトで有効になっています。 この機能が無効な場合は、手動で40ページ更新のアップデートを確認します。
• 省電力モード	有効 無効にする	省電力モードを有効または無効にする。	デフォルトで有効になっています。 有効時には90分間非アクティブ状態になると省電力モードになります。 省電力モードを有効にすると、フロントコントロールパネルの電源ボタンを使用してディスプレイの電源を入れるまでディスプレイをRS-232で制御できなくなります。
• デフォルト入力	OPS HDMI1 HDMI2 HDMI 3 VGA	ディスプレイをオンにしたときのデフォルトの入力を選択する。	OPSはデフォルトで「有効」になっています。
• デフォルトのタッチ設定を使用する	有効 無効	タッチポイントの数を設定する。	デフォルトでは「有効」になっています。 10点のタッチポイントを使用する場合は、「有効」を選択します。 20点のタッチポイントを使用する場合は、「無効」を選択します。
• 電源オン RS232	有効 無効	有効にすると、RS-232を使用して、低電力状態(ソフトオフ)からディスプレイをオンにすることができます。	デフォルトでは「無効」になっています。
• HDMI [コネクタ番号]-EDIDバージョン	デフォルト EDID 1.4 EDID 2.0	ディスプレイのアクティブなHDMIコネクタのHDMI-EDIDバージョンを、Default、EDID 1.4、またはEDID 2.0に設定します。  <b>注記</b> デフォルトでは、「デフォルト」が選択されています。	「デフォルト」を選択すると、接続されたデバイスのHDMI-EDIDバージョンを自動的に検出し、ディスプレイのHDMIコネクタをEDID 1.4と2.0の間で切り替えます。この機能は、古いデバイスやEDID 1.4非対応の機器では、安定して動作しない場合があります。

## 更新

オプション	値	機能	注
• ファームウェアバージョン	N/A	ディスプレイのスカラーファームウェアに関する技術情報を表示します。	ファームウェアのバージョンを確認するには、バージョン情報オプションを使用します。 参照 > 40 ページバージョン情報
• 更新	N/A	システムのソフトウェアの更新を確認します。	利用可能な更新プログラムがある場合、表示が更新を適用するに変わります。 システムソフトウェアの更新を確認するには、ディスプレイがインターネットに接続されている必要があります。ディスプレイのネットワーク設定を確認する。 参照 > 37 ページネットワーク

## リカバリ

オプション	値	機能	注
• ユーザー設定の復元	N/A	ユーザーが変更した可能性のあるオプションをリセットします。	N/A
• 工場出荷時の設定に戻す	N/A	すべてのオプションをデフォルト値にリセットします。	ディスプレイのリセットは管理者以外には行わないでください。

## バージョン情報

オプション	値	機能	注
• 名前	N/A	ディスプレイの名前を選択します。	この名称は、iQシステムソフトウェアで設定されたディスプレイ名称とは異なります。
• RAM	N/A	ディスプレイに搭載されているRAMの容量を表示する	N/A
• ローカルストレージ	N/A	ストレージメモリの空き容量と現在の使用量を表示する	N/A
• 解像度	N/A	ディスプレイの現在の画面解像度を表示する	N/A
• Android	N/A	Android™オペレーティングシステムの現行バージョンをディスプレイに表示する	N/A
• MXシステムバージョン	N/A	ディスプレイのスカラーファームウェアの現行バージョンを表示する。	N/A
• タッチキット	N/A	タッチシステムのファームウェアの現行バージョンを表示	N/A




オプション	値	機能	注
• HDMI出力	N/A	HDMI出力システムのファームウェアの 現行バージョンを表示	N/A
• MACアドレス	N/A	ネットワークのMACアドレスを表示	N/A
• シリアル番号	N/A	ディスプレイのシリアルナンバーを表示 します。	N/A
• 使用許諾契約	N/A	サードパーティーコンポーネントのライ センスを表示	N/A
• ユーザー契約書	N/A	SMART EULAを表示	N/A

## ディスプレイ設定の終了

[終了]をタップします。

または

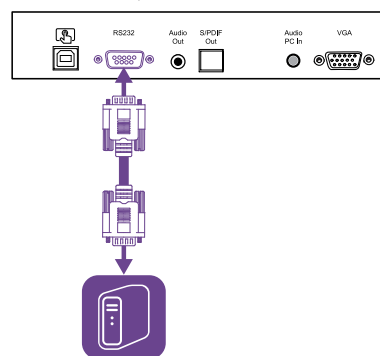
フロントコントロールパネルの「メニュー」ボタンを  押します。

# 付録 C RS-232を使用したディスプレイの管理

シリアルインターフェース設定を構成します。.....	42
通信体制 .....	43
コマンド .....	46

コンピュータのコントロールシステムまたはターミナルエミュレーションプログラムをディスプレイのルームコントロール入力に接続し、ビデオ入力の選択、電源やスリープ状態の変更、現在の入力ソース、コントラスト、電源状態など、ディスプレイの現在の設定に関する情報をリモートで取得することができます。

制御システムまたはコンピュータのシリアルポートからRS-232ケーブルをディスプレイ底面のRS-232 INコネクタに接続します。



## ❗ 重要事項

標準のRS-232ケーブルのみを使用してください。ヌルモデムケーブルを使用しないでください。ヌルモデムケーブルは通常、両端が同じ形状をしています。

## シリアルインターフェース設定を構成します。

ディスプレイにコマンドを送信する前に、制御システムまたはコンピュータのシリアルインターフェイスを設定する。

シリアルインターフェースの設定を行うには

1. ディスプレイをONにします。
2. 制御システムまたはコンピュータの電源を入れ、シリアルデータ通信の設定にアクセスします。
3. コンピュータでターミナルエミュレーションプログラムを使用する場合は、ローカルエコーを有効にします。

4. 次の値を使用してシリアルインターフェイスを設定し、ENTERを押します。

ボーレート	19200
データ長	8
パリティビット	なし
ストップビット	1

制御システムまたはターミナルエミュレーションプログラムからコマンド・プロンプト(>)を受信すると、ディスプレイはコマンドを受け入れることができます。コマンドプロンプトを受信できない場合は、キャリッジリターン文字(0x0d)をディスプレイに送信します(コンピュータでターミナルエミュレーションプログラムを使用している場合は、キーボードの入力を押してください)。

#### 注記

制御システムまたはターミナルエミュレーションプログラムでメッセージを受信しないか、またはエラーメッセージを受信する場合、シリアル・インターフェイスが正しく設定されていません。手順3および4を繰り返してください。

## 通信体制

通信は、コマンドの引数、影響を受けるプロパティ、演算子記号、適用する値、終端キャリッジリターン文字(0x0d)で構成されます。

### ❗ 重要事項

ターミナルエミュレーションプログラムに手動でコマンドを入力する場合、コマンドはキャリッジリターン文字(0x0d)のみで終了する必要があります。コマンドをキャリッジリターン文字(0x0d)とラインフィード(0x0a)の両方で終了させた場合、コマンドが処理されず、次のコマンドを受信する準備ができたことを示すコマンドプロンプトを受信できない場合があります。

### 注記

- ディスプレイが低電力状態(ソフトオフ)のとき、RS-232コマンドに回答しません。ディスプレイが低電力状態になるのを防ぐため、省電力モードを無効にします。

参照 > 39 ページ省電力モード

- 初めてディスプレイの電源を入れたとき、RS-232コネクタは制御モードではなく特別な診断モードで動作し、ディスプレイは制御コマンドに回答しません。また、接続された制御システムやターミナルエミュレーションプログラムが予期せぬデータ文字を受信することがあります。

接続された制御システムが予期せぬデータ文字を無視し、コマンドプロンプト(>)を受信した後にのみコマンドを送信するようにプログラムしてください。

省電力モードを無効にしていない場合、ディスプレイを起動するたびに予期せぬ文字が表示されません。

#### 正解です

```
>set input=HDMI1
```

#### 誤っています

```
>set HDMI1
```

ルームコントロールシステムでディスプレイの情報を取得したり、ディスプレイの設定を変更したりするには、コマンドプロンプト(>)を受信してからコマンドを送信し、ディスプレイからの応答を待ってから次のコマンドを送信してください。

#### 正解です

```
>get volume  
volume=55  
>
```

ルームコントロールシステムが認識しないコマンドを入力すると、無効なコマンドのレスポンスが応答します。

この例では、音量コマンドに余分なスペースが含まれています。

#### 誤っています

```
>set vol ume=65  
invalid cmd=set vol ume=65  
>
```

#### 注記

- コマンドはASCIIで入力してください。
- コマンドは、大文字小文字を区別しません。
- ターミナルエミュレーションプログラムに手動でコマンドを入力する場合、[入力]を押してキャリッジ・リターン(0x0d)を送り、コマンドを終了させる前に、各項目をよく確認するようにしてください。
- 応答が返され次のコマンドプロンプトが表示されるまで、別のコマンドを送信しないでください。

#### 現在の設定値を確認するには

getコマンドを使用します。

この例では、ディスプレイの現在の音量設定を取得する方法を説明します。

```
>get volume  
volume=55  
>
```

### 設定に値を割り当てるには

setコマンドを使用します。

この例では、ボリュームを65に設定します。

```
>set volume=65  
volume=65  
>
```

### 設定の値を増減するには

setコマンドを使用して値を上下させ、希望の値にします。

この例では、ボリュームを5上げます。

```
>set volume+5  
volume=70  
>
```

この例では、ボリュームを15下げます。

```
>set volume-15  
volume=55  
>
```

# コマンド

Get command	Set command	回答
get powerstate	<p>set powerstate[Value] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• = on</li> <li>• = ready</li> </ul> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コマンドが「無効なコマンドです」というメッセージを返す場合は、演算子記号(=)の周りにスペースを入れてください。</li> <li>• 画面が低電力状態のときは、RS-232コマンドに一切応答しません。ディスプレイが低電力状態になるのを防ぐため、省電力モードを無効にします。 参照 &gt; 39 ページ省電力モード</li> <li>• ディ스플레이がUPDATEONまたはUPDATEREADYの状態にある場合、コマンドを受信した後の電源の状態を変更する場合があります。</li> </ul> <p>関連項目 &gt; <a href="http://support.smarttech.com/docs/energysavingmodes">support.smarttech.com/docs/energysavingmodes</a></p>	<p>powerstate=[Value] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• ready</li> <li>• updateon</li> <li>• updateready</li> </ul>
get input	<p>set input[Value] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• =OPS</li> <li>• =OPSCC</li> <li>• =HDMI1</li> <li>• =HDMI2</li> <li>• =HDMI3</li> <li>• =VGA</li> </ul>	<p>input=[Value] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• =OPS</li> <li>• =OPSCC</li> <li>• =HDMI1</li> <li>• =HDMI2</li> <li>• =HDMI3</li> <li>• =VGA</li> <li>• =ANDROID</li> </ul> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• =OPSCCは、AM50 iQ機器とコンピュータカードをインストールした場合のみ利用可能です。</li> <li>• =ANDROIDはディスプレイの設定です。</li> </ul>
get brightness	<p>set brightness[Value] [Value]は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[Value]</li> <li>• -[Value]</li> <li>• =[5-100]</li> </ul>	<p>brightness=[Value] [Value]は5~100の数字です。</p> <p><b>注記</b></p> <p>オートブライツネスを有効にすると、手動で設定した明るさの値より優先されます。</p>

Get command	Set command	回答
get volume	set volume[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[Value]</li> <li>• -[Value]</li> <li>• =[0-100]</li> </ul>	volume=[Value] [Value]は、0～100の数字です。
get mute	set mute[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	mute=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>
get fwversion	N/A	fwversion=[Value] [Value]は、ファームウェアのバージョンです。
get serialnum	N/A	serialnum=[Value] [値]はディスプレイのシリアル番号です。 <b>注記</b> 複数のディスプレイが接続されている場合、応答には、カンマで区切ったすべてのディスプレイのシリアル番号が含まれています。
get partnum	N/A	partnum=[Value] [Value]は、改訂を含むパーツ番号です。
get videofreeze <b>注記</b> このコマンドは、SMART Board MXのファームウェア1.8.7以降でのみ使用可能です。	set videofreeze=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul> <b>注記</b> このコマンドは、SMART Board MXのファームウェア1.8.7以降でのみ使用可能です。	videofreeze=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul> <b>注記</b> このコマンドは、SMART Board MXのファームウェア1.8.7以降でのみ使用可能です。

# 付録 D SMART Remote Management にディスプレイを登録する

SMART Board MXまたはMX Proには、組織のSMART Remote Managementアカウントにディスプレイを登録できる機能が組み込まれています。ディスプレイを登録すると、SMART Remote Managementを使用して、次のようなディスプレイの機能や設定を集中管理できます。

- ブロックリストおよび許可リスト
- Wi-Fi
- 壁紙
- 証明書
- ロックスクリーン
- 利用可能なアプリ

参照 > [support.smarttech.com/docs/enrollingsrm](https://support.smarttech.com/docs/enrollingsrm)



# 証明書およびコンプライアンス

## 電子(eラベル)情報

規制情報は、ディスプレイの設定で確認できます。ホーム画面で、**設定 > バージョン情報 > 規制情報**をタップします。

## 米連邦通信委員会の干渉に関する声明

### FCC

#### サプライヤーの適合宣言

#### 47 CFR § 2.1077 準拠情報

一意の識別子:IDX65-1、IDX75-1、IDX86-1

#### 責任者 - 米国の連絡先情報

SMART Technologies Inc.

2401 4th Ave., 3rd Floor

Seattle, WA 98121

[compliance@smarttech.com](mailto:compliance@smarttech.com)

本デバイスは、FCC規則第15章に準拠しています。操作は、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があります、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

### 注記

この機器は、検査を行い、FCC規則第15章で定められたA分類のデジタル機器の規制に準拠することが確かめられています。これらの規制は、製品を商用環境で使用する場合の有害な混信に対し妥当な保護機能を提供することを目的としています。本装置は、無線周波数を生成・使用・発信するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。本装置を住宅地で使用する場合、有害な混信を引き起こすことがあります。そのような場合、混信を防止するため、ユーザー様のご負担による改修等の対策が必要になります。

### ⚠ 注意事項

コンプライアンス担当責任者による明確な承認のあらゆる変更または修正が本装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

### 制限

5.15 ~ 5.25GHz帯域での使用は屋内使用のみに制限されています。

米国における本製品のIEEE 802.11bまたは802.11gでの使用は、チャンネル1~11に制限されたファームウェアです。

### ⚠ 注意事項

- i. 5150 ~ 5250MHzの帯域用のデバイスは、同一チャンネルを共有する衛生システムへの有害な干渉を低減するため、屋内使用限定とします。

- ii. 5250 ~ 5350MHzおよび5470 ~ 5725MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得はe.i.r.p.制限に準拠するものとし、そして
- iii. 5725 ~ 5825MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得は必要に応じてポイントツーポイントとポイントツーポイント以外の操作に指定されるe.i.r.p.制限に準拠するものとし、そして
- iv. ユーザーは、高出力レーダーが、5250 ~ 5350MHzおよび5650 ~ 5850MHz帯域のプライマリユーザー(つまり、優先ユーザー)として割り当てられること、さらにこれらのレーダーがLE-LANデバイスへの干渉および/または損傷を引き起こす可能性がある事も警告されるものとし、そして

### 放射線被曝ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

## イノベーション、科学・経済開発省のカナダにおける声明

本デバイスは、イノベーション、科学および経済開発のカナダの規則RSS-247に準拠しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があります、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

### 放射線被曝ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

## EU適合宣言

SMART Technologies ULCはここに、無線機器タイプインタラクティブディスプレイIDX65-1、IDX75-1、IDX86-1、およびOPS AM40、AM50、PCM8、PCM11が無線機器指令2014/53/EUに準拠していることを宣言します。

### ⚠ 警告

住宅環境でこの機器を動作させると電波干渉を引き起こす可能性があります。

EU適合宣言の完全なテキストは次のインターネットアドレスでご利用可能です:[smarttech.com/compliance](http://smarttech.com/compliance)

## 証明書およびコンプライアンス

EUの周波数帯域と最大送信電力は次のとおりです。

送信帯域(MHz)	最大送信電力
2402-2483.5	19dBm (EIRP)
5150-5350	23dBm (EIRP)
5470-5350	23dBm (EIRP)

### 制限事項:

AT/BE/BG/CZ/DK/EE/FR/DE/IS/IE/IT/EL/ES/CY/LV/LI/LT/LU/HU/MTNL/NO/PL/PT/RO/SI/SK/TR/FI/SE/CH/UK/HR-5150MHz ~ 5350MHzは、屋内でのみ使用できます。

#### 注意事項: 無線周波数の被曝

本装置は、EUの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。

## ハードウェア環境コンプライアンス

SMART Technologiesは、安全かつ環境にやさしい方法で電子機器の製造、販売、廃棄を実現するために、グローバルな取り組みを支持しています。

### 電気および電子機器・電池の廃棄(WEEEおよび電池指令)

電気・電子機器や電池には、環境や人間の健康に有害なおそれがある物質を含みます。\*印のついた車輪付きのゴミ箱マークは、製品が適切なリサイクルの流れで、通常廃棄物ではないように処分される必要があることを示しています。



### バッテリー

#### 注意事項

適合しないタイプのバッテリーを使用すると、発火や爆発の危険があります。使用済み電池は速やかに廃棄してください。コイン型電池のパッケージに記載されている取り扱い指示に従ってください。使用済み電池は、地方自治体のガイドラインに従ってリサイクルまたは廃棄してください。

ディスプレイにはCR2025コイン型電池が内蔵されています。リモコンはアルカリ電池を使用しています。電池は正しくリサイクルまたは廃棄してください。

### 過塩素酸塩素材

製品のコインセルバッテリーには、過塩素酸塩の材料が含まれています。特別な取り扱いが必要な場合があります。

参照 > [dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate](https://dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate)

**SMART Technologies**

[smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)

[smarttech.com/contactsupport](https://smarttech.com/contactsupport)

[docs.smarttech.com/ja/kb/171257](https://docs.smarttech.com/ja/kb/171257)